

特定施設及び除害施設に係る

## 別紙記入要領及び記入例

排水処理施設設置事業場用

炭酸ガスによる中和処理（工事現場）

東京都下水道局

## \*届出別紙についての注意点\*

◎この届出別紙記入例は工事現場で中和処理に炭酸ガスを使用する場合のものです。

硫酸と水酸化ナトリウムを使用する場合は別途記入例をご覧ください。

なお、こちらの届出別紙は中和処理のみの記入例となっています。

土壤汚染や亜鉛管等の工事部品が原因で亜鉛等の処理困難物質が検出されることがあります。この場合は pH 以外の処理項目が増える可能性があります。

処理項目については「工事現場の排水処理について」をご覧ください。

- 届出別紙（以下、別紙）記入の際はこちらの記入例と「工事現場の排水処理について」をあわせてご活用ください。
- 別紙は 1 ページから 8 ページまであります。  
ページ下部のページ番号は変えないでください。  
なお、ページが足りない場合は同じページの様式を用い、ページ番号の横に（ ）をつけ、番号を振ってください。【例：-5-（1）】
- こちらに記載されている内容は記入例です。  
工事現場によっては記載の仕方が異なることがあります。  
記入の際、ご不明な点がありましたらお気軽に各事務所へお問い合わせください。  
（連絡先については「工事現場の排水処理について」を参照ください。）
- 届出の提出期限は、  
特定施設・除害施設を設置しようとする日の  
**60日前**までです。  
届出期限を遵守いただくようお願いします。
- 届出受理の際、また受理後も審査の際に  
当局職員から別紙の内容について問合せ  
をさせていただく場合があります。  
あらかじめご了承ください。



工場又は事業場の概要

1. 特定施設の構造及び使用の方法

(1) 工場又は事業場の規模等

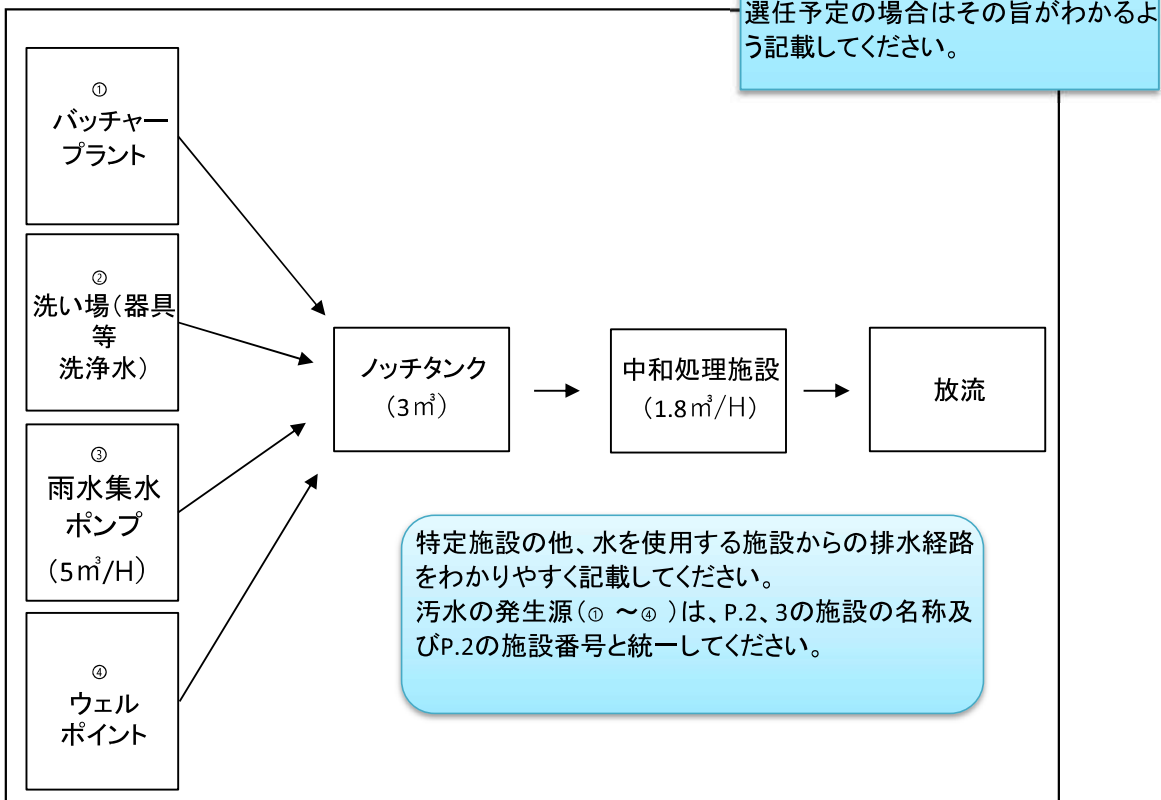
業 種	建築業	資 本 金	5000万円	敷地面積	3000㎡
創業年月日	平成27年9月1日	従業員数	300人 ( )人	作業場面積	同上 ㎡
作業時間	9時 ~ 17時 ( 8時間)	休 業 日	日・祝祭日	水質管理 責任者	下水 太郎

(2) 主要製品名及び生産量

・どのような工事を行うか  
・届出の趣旨  
などを記載してください。

有資格者を選任し、当局に  
「水質管理責任者選任等届出書」を  
提出してください。

(3) 操業の系統 (作業工程フローシート)



## (4) 特定施設等の種類、構造、使用時間及び使用原材料

施設番号	①	②	③	④		
施設の名称	バッチャープラント	洗い場 (器具等 洗浄水)	雨水集水 ポンプ	ウエル ポイント		
形式	BP-5.0	カタログ による	AM-2000	U200	<p>・特定施設と、水を使用する全ての施設について記載してください。            なお、トイレなど生活排水のみ排出する施設についての記載は不要です。</p> <p>・施設番号は前ページの作業工程フローシートに記入した番号及び添付図と一致するようにしてください。</p>	
構造	自動運転式	自動運転式	自動運転式	自動運転式		
主要寸法	カタログ による	カタログ による	カタログ による	カタログ による		
能力	カタログ による	カタログ による	5m <sup>3</sup> /H	カタログ による		
工事着手 (予定)年月日	施設の設置を始める予定日を記載してください。				令和元年 12月1日	
工事完成 (予定)年月日	施設の設置が終了する予定日を記載してください。				令和元年 12月20日	
使用開始 (予定)年月日	排水が発生するなど、施設を使い始める予定日を記載してください。				令和元年 12月20日	
使用時間間隔及び1日あたりの使用時間	8時間	8時間	8時間	24時間		
季節変動の概要	なし	なし	降雨等による	降雨等による		
使用原材料の種類、使用方法及び使用量	骨材、水、モルタル					
その他				2か所		

## (5) 特定施設等の設置場所及び特定施設等に関連する機械・装置の配置 別添第(1)図のとおり

施設の名 称		① バッチャー プラント	② 洗い場 (器具洗淨 水)	③ 雨水集水 ポンプ	④ ウェル ポイント		
汚 水 量	通常	1	3	0	2		
(m <sup>3</sup> / 日)	最大	2	5	5	5		
水  質  単 位 ・ 温 度 、 p H を 除 き m g / l 、 ダ イ オ キ シ ン 類 は p g / T E Q / l	p H	通常	10	10	10	7.0	・通常には降雨がないときの水量(=0)を、最大には降雨があったときに想定される最大水量を記載してください。
		最大	11	11	11	8.0	
		通常	・水質について 数値はP.6の各項目の処理前の 数値と同じになります。				
		最大					
		通常					
		最大					
		通常	◎ バッチャープラントについて バッチャープラントから出る汚水とはバッチャープラントの洗淨排水等、製品に 使用しない水を指します。 コンクリートを練るなど製品に使用する水についてはP.7の原料用水に記載し てください。				
		最大					
		通常					
		最大					
	通常						
	最大						
	通常						
	最大						

2.

汚水等の処理方法、下水の量及び水質、用排水の系統

(1) 汚水等の処理の系統（フローシート）及びその説明

こちらには、汚水処理のフローシートを記載してください。  
「別添のとおり」として資料を添付することも可能です。

**フローシートに記載する項目**

- ・処理のフロー
- ・自然流下であるかポンプアップか
- ・用いるポンプの形式、揚水能力
  - \* 揚水能力は(例:○ m<sup>3</sup>/H)の形式で記載してください。
- ・使う槽の容量、材質
- ・排水に当たって留意する事項 など

**添付書類**

- ・特定施設/除害施設等のカタログ  
(既製品であれば)
- ・現場平面図(排水経路図)
- ・処理施設の平面図
- ・工程表

フローシート、現場平面図の記入例については別紙後方の<第1図><第2図>  
を参照してください。

## (2) 処理施設の種類、構造、使用時間及び消耗資材

処理施設の名称	中和処理施設					
形式	AB-C3000					
構造	自動運転式					
主要寸法	口径50mm					
付属機器類	なし					
能力	1.8m <sup>3</sup> /H					
処理の方式	炭酸ガスによる中和					
工事着手 (予定)年月日	施設の設置を始める予定日を記載してください。					
工事完成 (予定)年月日	施設の設置が終了する予定日を記載してください。					
使用開始 (予定)年月日	排水が発生するなど、施設を使い始める予定日を記載してください。					
使用時間間隔及び1日あたりの使用時間	24時間					
季節変動の概要	降雨等による					
消耗資材の種類、用途及び使用量	炭酸ガス 常備1本 (予備：2本)	使用する薬品などの種類や濃度について記載してください。 炭酸ガスポンベの予備分についても記載してください。				
その他						

## (3) 処理施設の設置場所及び配置 添付第(1)図のとおり

処理施設の名称		中和処理施設				
汚水量 (m <sup>3</sup> /日)	通常	6	→	通常 = P.3の 通常 の合計		
	最大	17				
pH	処理前	7~11				
	処理後	6~8				
水	処理前	・水質について 処理前: P.3と同様 処理後: P.8と同様 の数値となります。				
	処理後					
質	処理前					
	処理後					
単位・温度、pHを除き	処理前					
	処理後					
mg/l、ダイオキシン類は	処理前					
	処理後					
pg-TEQ/l	処理前					
	処理後					



残さ等の種類	汚泥	<p>・廃液・汚泥等、産廃回収をする廃棄物が発生する場合、内容を記載してください。</p> <p>・含水率が未測定の場合、スラリー(未脱水)状ならば98%、脱水されていれば80%と記入してください。</p> <p>・立入検査の際、マニフェストを確認させていただく場合があります。処理業者とやり取りしたマニフェストは大切に保管してください。</p>
生成量	100Kg/月	
含水率	80%	
保管方法	ポリタンクに貯蔵	
処理・処分の方法	産業廃棄物として業者に委託回収	
処理業者	運搬・処分：株式会社〇〇環境安全社 許可番号：0000000000	

(6) 施設の施工者 **除害施設の施工者について記載してください。**

名称	東京施設施工株式会社
住所	東京都新宿区西新宿2-8-1

原料用水とは、パッチャープラントでセメントを練る際に使用する水等、製品に入る水を指し、排水が出ないものと考えます。  
洗淨用水欄にはパッチャープラント洗淨水、器具洗淨水等、製品に入らない洗淨水を合計した数値を記載してください。

(7) 使用水量 (m<sup>3</sup>/日) \* ( ) は最大水量

給水源	用途					
	原料用水	洗淨用水	冷却用水	生活用水	その他 (ウェルポイント)	合計
上水道	1	4 (7)		2		7 (10)
工業水道						
その他 (ウェルポイント)					2 (10)	2 (10)
合計	1	4 (7)		2	2 (10)	9 (20)

(8) 用水及び排水の系統 添付第 ( 1 ) 図のとおり

記入例<第1図>現場平面図を参考に、建物または敷地全体の排水経路及び用水経路を色分けするなどしてわかりやすく記入してください。

使用する水量について項目ごとに記載してください。  
使用する水量が不明な場合は水道料金請求書等を参考にしてください。詳細な水量が不明であれば推定で構いません。

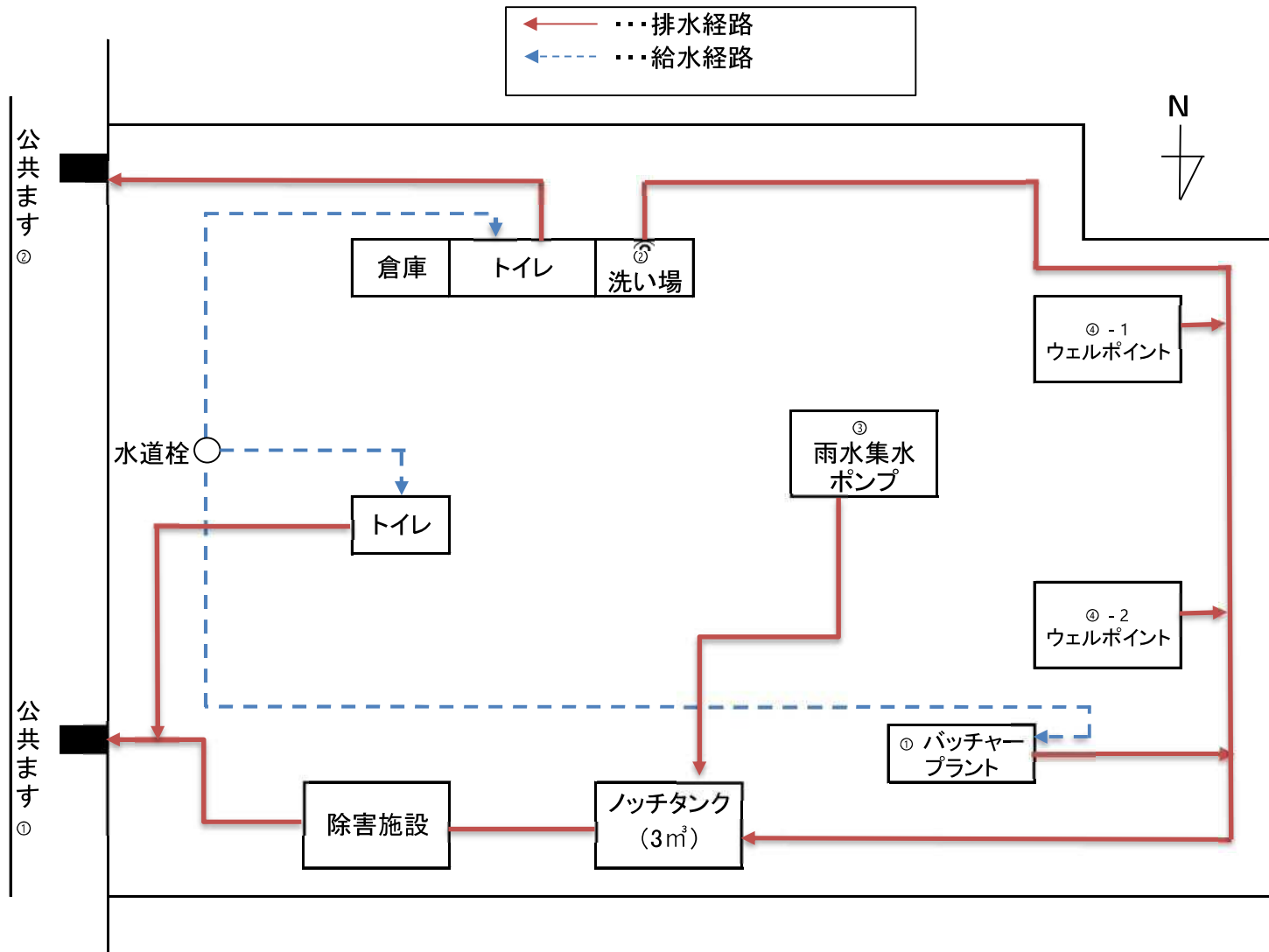
排出口番号		1	2		
排出口の名称		公共ます (事業系+生活系)	公共ます (生活系排水)		
排水量 ( $m^3$ / 日)	通常	7	1		
	最大	18	1		
水質 pH	通常	7.0			
	最大	8.0			
水質 単位・温度、pHを除き $mg/l$ 、ダイオキシン類は $pg-TEQ/l$			生活系排水	<p style="text-align: center;">中和処理施設に流入する水量 + 他の排水 (他の排水とは?)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中和処理施設を通さずに公共ますに流せる排水</li> <li>・公共ますが1つで、事業系排水が生活系排水と合流する場合の生活系排水</li> </ul> <p>* 事業系排水と生活系排水が合流する場合、生活系排水を含んだ水量である旨を記載してください。</p>	

生活系排水が流れるますについても記載してください。  
(生活系排水のみ流れるますの水質については記入不要です。)

現場平面図に排出口番号と位置について記載してください。

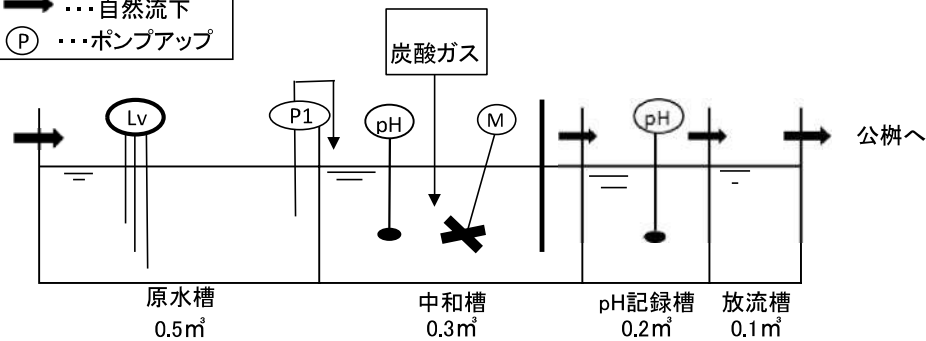
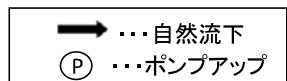
・水質について  
こちらの数値はP.6の  
処理後の数値と同じ  
になります。

# <第1図>現場平面図(記入例)



## <第2図>除害施設平面図(記入例)

### ■ フローシート



槽の名称	寸法(mm) 幅×奥行×高さ	有効容量(m <sup>3</sup> )
原水槽	800×800×1200	0.5
中和槽	600×800×1200	0.3
pH記録槽	500×600×1200	0.2
放流槽	500×200×1200	0.1

ポンプ名称	形式	揚水能力
P1ポンプ	P-0001	1.8m <sup>3</sup> /H

### ■ 平面図

